

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスナナララ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

8年

2月

16日

法人（事業所）理念		生きづらさを感じるどんな子どもたちでも安心して気持ちを表現できる居場所を作る。 一人ひとりの輝く個性が潰れることなく、平等に社会で発揮できる未来を創造する。 「誰一人取り残さない」療育を目指す。						
支援方針		小集団活動を通して社会で生きていくための練習を行う。 子ども達の安心・安全の居場所になるように関わる。 自己決定と選択ができるように関わる。						
営業時間		9時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●健康状態の維持・改善のため、来所時の健康チェックを実施する。（ご家族との情報共有を含む） ●来所時の準備（私物の管理）・衣服の着脱（気温・室温に合わせた衣服の調整）・排泄等、個々に合わせて最適な介助を行う。 ●おやつ時には手作りで対応し、「食」に向かう気持ちを引き出す。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●サーキット遊びや戸外遊びを取り入れた粗大運動を行う。 ●個々が必要としている感覚に関するアセスメントを行い、それらを十分に取り入れる事が出来るように運動プログラムを設定する。 ●クッキングや普段のおやつでは手作りを提供し、匂いや手触り（熱い、冷たい、柔らかい、硬い、ざらざら、つるつる等）、味（甘味、塩味、うまみ、酸味、苦味）を楽しむ。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●見通しの形成を図る。（スケジュールを分かりやすく提示、活動の「始まり」と「終わり」を明確にする、予告、カウントダウン、変更時の事前説明等） ●注意・集中の支援を行う。（パーテーションを用いた視覚の整理、タイマーの利用、課題量の調整） ●小集団の活動の中でマッチングや色、形、用途の分類、数量概念、因果関係の理解を促す為に手順書の提示、チェックリストでの確認、振りかえりの習慣を身につけていく。 ●行動の分析を行い、不適切な行動に対しての代替行動の形成を図る。 ●子どもたちが理解できる環境を作り、成功行動が増えるように関わる。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●簡単なあいさつや対話を通じて支援者もしくは友達との円滑なコミュニケーションを図ることが出来るように支援を行う。 ●ジェスチャー・絵カード等、発達段階に合わせたコミュニケーション方法を見つけていく。 ●「ちょうだい」「貸して」「手伝って」「いや」「しない」等の意思の表出をジェスチャー・カード・筆記等で促す。 ●適切な場面で適切に伝えられるかを評価し、個々に合わせて伝え方を知らせていく。（実物、写真、イラスト、文字、表、感情カード、等） 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●小集団の中での活動・対話を通じて他者理解を促す。また成功体験を重ね自己肯定感を育み、社会貢献に繋げていく。 ●一人遊びから大人を介して小集団遊びへの移行を促す。 ●安心できる環境で身近な大人や友達との関係を築き、信頼関係・愛着関係の形成を目指す。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な勉強会・個別面談などを実施する。 ●困りごとがあった時に相談できる関係を作る。 ●保護者交流会や参観などを開催する。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ●保育園・関係機関・保護者などを含めた連携会議を実施する。 ●進学・就学に向けたサポート支援の実施を行う。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ●保育園・幼稚園・関係機関等と連携を密に図り、情報共有を行う。 ●支援の方向性をお互いに理解し、役割分担を行う。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●事業所内での研修や外部研修を受講し、知識向上を図る。 ●他の事業所と交流を行う。 	
主な行事等		季節に応じた行事（お正月、節分、お雛様、こどもの日、クリスマスなど）・お誕生会など						